



確固たる伝統に裏打ちされた、最高のフィナーレを目指す3学期に！

校長 折戸 克明

令和4年がスタートしました。今年も、まだまだコロナの完全終息には至らずオミクロン株の拡がり心配される中での新年の幕開けとなりましたが、大きな混乱もなく3学期を迎えることができました。これもひとえに、各ご家庭における保護者の皆様方のご支援があつてのことと、心から感謝いたしております。



本日の始業式にて、子どもたちに以下のような話をしました。

全校の皆さん、明けましておめでとうございます。令和4年という新しい年のスタートとなりました。デルタ株に代わるオミクロン株の拡がり始まり、まだまだコロナへの不安が払拭し切れない中であつて、こうして3学期の始業式を学校に集って行うことができるのは、全校生徒の皆さんが、昨日までの冬休みの過ごし方に関して、それぞれで正しく判断し、生活することができたからこそです。そんな今日の3学期始業の日を心から喜び合いたいと感じています。【※中略】

さて、いよいよ3学期のスタートです。3学期は、3年生にとってはわずか39日間、1・2年生にとっても51日間の授業日しかありません。1・2学期と比べるととても短く、ボンヤリしているとアツという間に終了を迎えてしまうこととなりますが、気持ちを入れて自分のことを見つめながら、毎日を大切にすれば、大きな本物に近い自信を獲得することができる日々となります。そして、それぞれが頑張った自分をしっかりと自覚できれば、よく耳にする「この仲間と一緒に歩いて良かった」という言葉の本当の意味を実感できる、それがこの3学期なのです。

さらに、この言葉の意味として皆さんに感じて欲しい思いは、「この仲間と共に、互いの思いを確実に伝え合いながら、共に成長することができ、そのことを一緒に喜び合うことができ本当に良かった」という深い思いであつて欲しいと願います。言葉で言うのは簡単ですが、本当にこの思いを感じるには、それにふさわしい歩みの積み上げと、何が財産として残ったかを丁寧に確認することが必要となります。今年は、年度のスタートから「伝統キャンペーン」という言葉が大切にされ、その流れの中で、2学期の後半から、1・2年生の実行委員会のリードにより歩み出しを開始した伝統を引き継ぐ会は、まさにそのための会であり、令和3年度の揖斐川中の仲間として築き上げてきた財産を、学校の確固たる伝統として確認し合いながら、個々の自信や誇りを実感するための場としなくてはなりません。「何が自分を奮い立たせ、たくましくしてくれたのだろう」、「苦しいときに自分で乗り切ることができたのは、何があつたからだったのだろう」、「これまで頑張ってきたことは、これからの自分にどのように活かしていけるのだろう」などなど、それぞれの立場で確認しながら、自分の中に実感として刻み込んでいってください。来る2月16日には、3年生の皆さんがどんな思いや言葉を述べ、それを1・2年生の皆さんがどのように受け止め、その後のより逞しい揖斐川中づくりに活かしていってくれるのかを、今からとても楽しみにしています。全くの私事になりますが、私：折戸もこの3月をもって揖斐川中を、そして教員人生を卒業することとなります。私は、今年度、揖斐川中の素晴らしい皆さんと一緒に生活しながら、とても気持ちよく終止符を刻むことができそうな毎日ばかりで、本当に幸せ者だなあとしみじみと感じてきました。そんな幸せな毎日を送ることができた背景には、皆さんが「自分事」意識を高めながら、一体となつてより高みを目指す生き方を求め続ける姿があつたからです。私は最後まで皆さんに、「すべてを自分のこととして受け止め、自らに問いながら、自らを磨き続ける」ことを大切にしてほしいということを言い続けていきます。「自分事～1人1人が主人公～」という生徒会スローガンの達成、さらには、揖斐川中の3本柱である「思いやりの心」と「ひたむきな姿」からなる「自治の精神」が本物と言える日はすぐそこまで来ていると感じています。2月16日の伝統を引き継ぐ会、そして3月8日の卒業式では、伝え託そうとする者と、それ受け継ごうとする者が、行動とその奥にある思いの部分で確実に共鳴し合いながら、より確かな伝統として固めていくことができる、そんな揖斐川中学校を創り上げることを、今日からの39日間と51日間の目標としましょう。「自らに常に問いながら自らを磨き続ける」全校生徒の力で「本物の自治」に挑むことを、これからもみんなのためのキーワードとして大切に続けながら、全校生徒の皆さんとすべての先生たちの力を結集し、「揖斐川中学校の本物の伝統はこれだ」と胸を張って言えるものを創り上げ、「この仲間と一緒に頑張ってきて本当に良かった」という思いで3学期の、そして中学校生活のフィナーレを迎えられることを、私は心から願っています。

それでは皆さん、まだまだ寒い日が続きますが、寒さと、そして、引き続きコロナ対策にも万全を尽くしながら、今日から、また、一緒に頑張っていきましょう。

2学期までの素晴らしい頑張りとお前を礎に、コロナ禍の制約にもへこたれることなく、最高のフィナーレが飾れたと喜び合える3学期づくりに、子どもたちと一緒に挑んでいきたいと思つています。保護者の皆様方には、今年も、昨年までと同様に厚いご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。